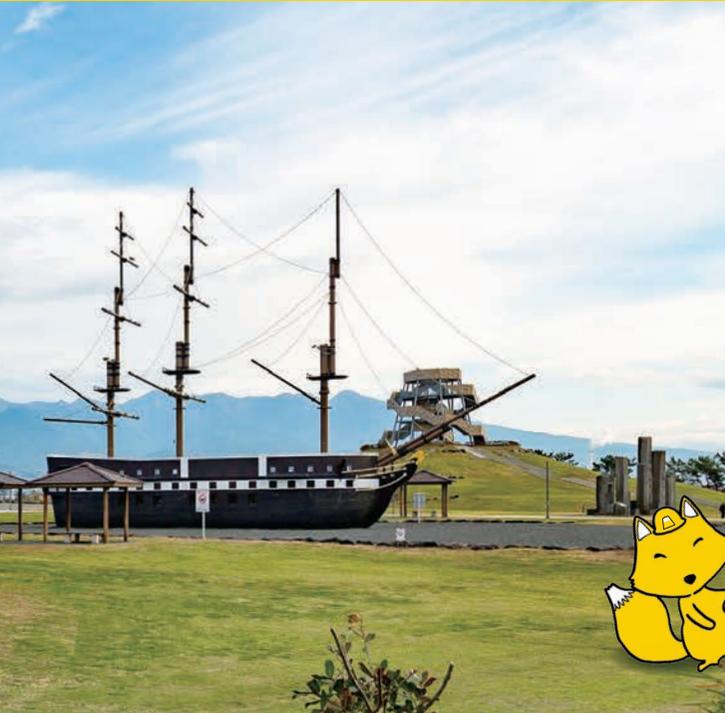


MEMO

- RBコンサルタント(株)
- (株)アクト
- (株)ウインディーネットワーク
- 静岡コンサルタント(株)
- 伸東測量設計(株)
- 鈴木設計(株)
- (株)駿河調査設計
- (株)滝口測量設計
- 東海技術開発(株)
- (株)東海建設コンサルタント
- (株)東日
- 富士設計(株)
- (株)富士測量事務所
- 旭測量設計(株)
- 大鐘測量設計(株)
- (株)グリーン
- (株)建設コンサルタントセンター
- 国土計画(株)
- 昭和設計(株)
- (株)スルガコンサル
- (株)ツルタコンサルタント
- (株)トップエンジニア
- (株)日本地理コンサルタント
- 服部エンジニア(株)
- (株)富士和
- (株)松井測量設計事務所
- (株)大場上下水道設計
- (株)技研測量
- (株)共和コンサルタント
- (株)松和技研
- (株)白岩設計
- (株)中部総合コンサルタント
- (株)蓮池設計
- 不二総合コンサルタント(株)
- (株)フジヤマ
- 吉田測量設計(株)

静岡県防災的公園ガイド



毎日に  
小さな冒険と  
大きな安心を。

大地を測る。みちを描く。まちをつくる。

一般社団法人 静岡県建設コンサルタンツ協会

〒420-0858 静岡市葵区伝馬町9番地の7 塚本ビル2階B号室  
TEL.054-272-3003 E-MAIL. info@sz-cca.com



防災的公園ガイド

<http://www.sz-cca.com/>

# 機能の公園。 今日の「楽しい！」だけじゃない。 明日の「備え!」「守り!」もある。



コン太くん、公園にはどんな役割があるか知ってる？



子どもたちが遊具で遊んだり、高齢者がグランドゴルフをしたり、家族で散歩したり、「憩いの場」という感じかな。



でもそれだけじゃないの。緑を増やして景観をつくったり、観光の拠点としての役割も。そして一部の公園は、防災という重要な役割も担っているの。昔からある公園に木が多いのは、火事が多かったときに延焼を防ぐ役目があったから。



緑が多いと気持ちがいいからだと思ったら、そんな理由があったんだね。

平成の命山「きぼうの丘」  
(袋井市中新田地区)



平成7年の阪神・淡路大震災を契機に、都市公園の持つ防災機能が大きく見直されたの。広域防災拠点や仮設住宅などの一次的な避難生活の場を想定した様々なタイプの防災公園が整備されているよ。



東日本大震災からは、何か公園に加わった機能ってあるの？



津波の対策が増えたよ。防潮堤をつくって、その上に公園をつくったり、命山公園の整備も進んでいるの。命山は、津波、洪水で地域が浸水したときに、住民が緊急避難するためにつくられた人工高台のこと。通常は、公園として使われているの。



へえ、知らなかったな。  
ところで公園って、だれがつくっているの？



公園は、基本的に県や市町が整備するんだけど、設計をするのは「建設コンサルタント」。公園設計をするのに、住民の意見を聞いて、地域の歴史、文化、景観を調べ、地域の未来のためにどうあるべきかを考え、提案するの。大変だけど、やりがいがある仕事よ。



公園の「遊ぶ」「守る」をつくっているのは、「建設コンサルタント」なんだね。

建コンキャラクター

コン太くん



浅田  
ナビゲーター



# 水と緑の杜公園

Mizuta midorinomori park



土砂を止めるための堤防までもが、公園の一部に。  
自然に寄り添うデザインが、美しい景色をつくる。



## 砂防堰堤で水を味方にすることで、自然公園を整備

ここは、一般的に憩いの親水公園として知られていますが、本来の目的は防災にあります。かつて桃沢川は、大雨が降ると土石流がおきおそれがあるなど問題のある川でした。そこで、土砂の流れを止める砂防堰堤(さぼうえんてい)をつくり、安全を確保した上で下流域を公園として整備しました。

砂防堰堤がこれほど間近に見られるところは、そうはありません。そして、自然の流れを活かし、人が遊べるようにした護岸設計にも注目ください。人が寄りつけなかった荒れた川と森が、いまでは多くの人に親まれるようになりました。それが、私たちの誇りです。



小山 ナビゲーター

- [ 住所 ] 長泉町元長窪
- [ 駐車場 ] 40台
- [ 公園面積 ] 4.8ha
- [ 施設 ] 砂防堰堤、護岸整備、吊り橋、広場、せせらぎ、散策路など



# [ 水と緑の杜公園 *Mizuto midorinomori park* ]

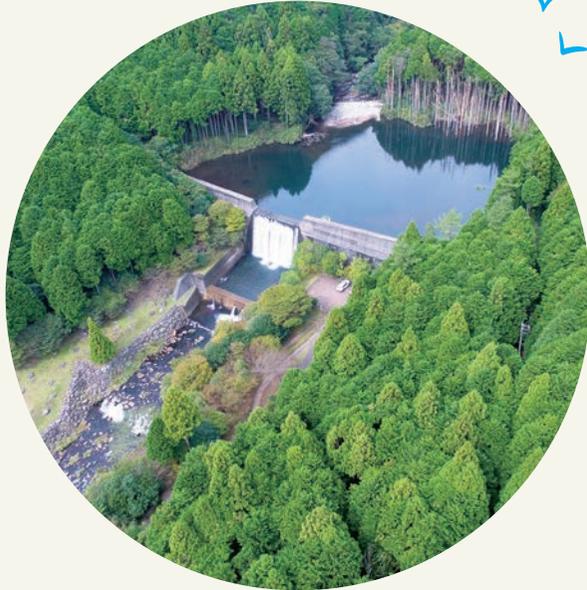
コン などところに 防災的 秘密！

これは滝の  
モニュメント  
みたいだコン！



## 1 砂防堰堤

川を見ると1m以上の石がゴロゴロしています。かつては、大雨が降るとこのサイズの石が住宅地のあるところまで流れていったとか。それが、この砂防堰堤をつくったことで、この川での被害がほとんどなくなったようです。ちょっと見ると、人工の滝みたいですが、ちゃんと町民の生活を守っているんですね。



## 2 護岸整備

護岸とは、水流による浸食破壊を防ぐために、堤防などを覆って保護する構造物のこと。もともとここにあった大きな石をバランスよく揃えて、固めてあります。それがとても自然です。川には水が流りたいカタチがあって、それに合わせて設計するのがコツになります。



## 4 親水

桃沢川はもともと水量が多く、砂防堰堤からも絶えず水があふれ出ています。そのままでは水の流れが急になるので、段差をつくることで流れを緩め、遊ぶことができるよう設計。しかも、できるだけ自然が感じられるよう、そこにあった石をバランスよく配置して使っています。



## 3 樹木

もともとこの辺は人工林が多く、スギやヒノキなどの針葉樹がほとんどでした。そこを、地元の方たちの意見を聞きながら、樹種を選ぶことで多様性のある森に生まれ変わりました。以前は、うっそうとしたくらい森でしたが、今は明るくて心地よい森林浴が楽しめます。



これを機会に  
「砂防堰堤」を  
覚えてね！



### 小山ナビゲーターの公園への想い

ここは、町外からも人を集める人気の公園です。季節ごとの景色もいじすし、夏には水遊びが楽しめます。ですが、私としては砂防堰堤を見てもらいたい。この迫力ある存在感は、なかなかのものです。この堰堤がみなさまの安全を守っていることを知ってもらくと、この公園の見方も変わってくるかもしれません。

私たちは、  
景色も  
つくっています。



## 5 モニュメント + 遊歩道

桃沢川に沿って歩けるよう遊歩道をつくってあります。ちょっとした広場があったり、小さな支流があったり、ゾーンごとの変化が楽しい。橋などのモニュメントも、環境に合わせて、素材デザインを選ぶことで、環境に合わせています。

いかに自然に  
見せるのかも、  
設計者の腕なんだね！



# 旧道広場

Kyudo hiroba

清水町



小さいけれど  
防災のチカラ持ち。



## 地域の共有広場、住民の防災意識を高める役割も

看護学校の跡地を公園に整備することになり、地域の意見を聞きながら防災の機能を加えたのがこの広場(公園)です。看護学校当時の設備だった貯水槽や樹木など、使えるものは有効活用しています。

入りやすいように入口を2方向にとり、防災広場の案内看板が設置された旧道側の

入口は消防車が入れるように広さを確保しています。外側の歩道も安全面を考え、広場の土地を加えて広げました。地区の一時避難場所としての役割を持ち、広場ができたことで住民の防災意識も高まっているようです。防災訓練もここで行われ、地域の人が参加しています。



落合  
ナビゲーター

## コン などところに 防災的 秘密！



### 1 トイレ

災害時にも使用可能なトイレです。通常使用のトイレに加え、災害時に床部分にマンホールトイレを設置しています。テント等で覆う必要がなく、トイレをトイレとして使えるのがうれしい。



### 2 貯水槽

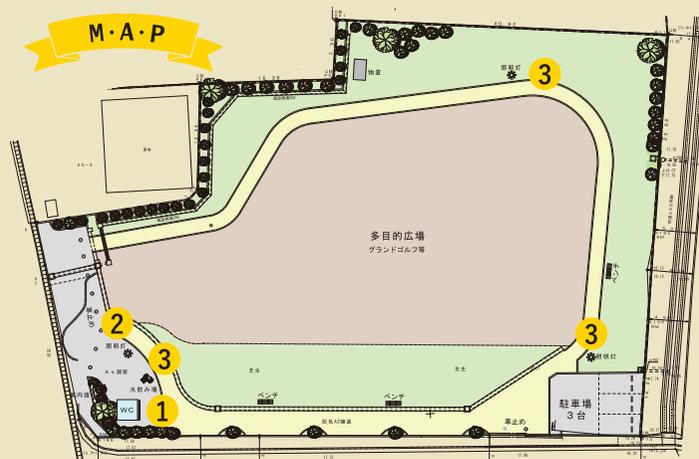
看護学校当時から設備されていた、耐震性の貯水槽をそのまま再利用しました。40tの水を貯めることができ、被災時に必要な水(飲料水ではありません)を確保します。



広場は、  
バリアフリーにも  
考慮して設計！



普段は、グランドゴルフで  
使ったりしてる！



### 3 太陽光発電照明

災害時にも夜を照らす、太陽光発電の照明を導入しました。照度の計算をして、エリアをカバーするために3箇所に設置。民家に隣接する箇所では明るくなりすぎないように配慮しました。



[ 住 所 ] 駿東郡清水町長沢

[ 駐 車 場 ] 3台

[ 公園面積 ] 3,000㎡

[ 施 設 ] 貯水槽、太陽光照明、災害時用トイレ、広場など





安政の大地震、津波を経験した  
「ディアナ号」が公園のシンボルに。



安心の上に「交流」を築く、見通しの良い公園

この公園のテーマは「交流」です。地域、自然、景観、健康の交流ができるよう設計しました。そのためには、まず安全の確保が欠かせません。田子の浦エリアは昔から高潮の被害があったために、公園の位置(高さ)は海拔約16m。必要な土は、近くの港湾の底面にたまった土砂を利用しました。

園内の中心部には歴史学習施設「ディアナ号」を配置しました。安政の大地震に遭遇したディアナ号から、自然災害の脅威を学ぶことができます。景観にも配慮し、公園内から海側のテトラポットを隠すように、陸側には工場や町並みが見えにくくし、富士山の雄大さを際立たせました。



鈴木 ナビゲーター

- [ 住所 ] 富士市前田地先
- [ 駐車場 ] 139台 障害者用4台
- [ 公園面積 ] 7.6ha
- [ 施設 ] 展望広場(富士山ドラゴンタワー)、港の見える丘(展望ステージ)、山部赤人万葉歌碑、冒険広場(冒険の丘・アスレチック遊具)、歴史学習施設ディアナ号、海浜植物園など

※営業時間：公園は終日開放、駐車場：8:00～17:00  
歴史学習施設ディアナ号：9:00～16:00  
※定休日：歴史学習施設ディアナ号の休館日は月曜(祝日の場合は翌日の火曜日)と年末年始(12月28日～1月4日)



# [ ふじのくに田子の浦みなと公園 ]

Fujinokuni tagonoura minato park

コン などところに 防災的 秘密！

## 1 歴史学習施設「ディアナ号」

1854(寛永7)年、ロシア軍艦「ディアナ号」が国交を求めて伊豆・下田港に入港しましたが、安政の大地震の津波に襲われて大破。修理のため戸田港に向かう途中、田子の浦沖で座礁したところを地元の人々が乗組員を救助しました。自然災害の脅威や日露友好の歴史を学ぶ資料を展示し、史実を語り継ぐ役割も担っています。



ディアナ号の中では  
さまざまな資料を  
展示しています。



立派な遊具だと思っていたら、  
学習施設だったなんて！



## 2 展望施設

### 「富士山ドラゴンタワー」

ディアナ号と並ぶもう一つの公園のシンボルです。富士山にちなんで37.76mの高さがあります。避難塔ではありません。そもそも公園自体が想定する津波より高いところにあるので安心です。



## 3 多目的広場

普段は、子どもたちが走り回る広場ですが、緊急時にはヘリコプターの発着所にもなります。そもそも、ヘリポートを想定したわけではありませんが、防災訓練の際にヘリコプターを発着させて活用できることを確認しました。



## 4 芝生広場

周りの自然環境と交流できるように、人が集まることでの地面を少し下げています。それによって、海側のテラポットを見えにくくし、陸側の工場や町並みを隠すことで、美しい景観を確保。開放感があり、富士山の眺めのいい公園を実現しました。



## 5 アスレチック 遊具

ただアスレチック遊具を配置するのではなく、盛り土を工夫することで子どもたちが周遊できるようにしました。普通に遊んでいると、周囲をぐるっとできるように。それも子どもたちの「交流」をイメージしたものです。



とても景観のいい公園なので、360度景色を楽しんで！



高さ約16mのところにあるから、安心だコン！

### 鈴木ナビゲーターの公園への想い

津波に襲われたとき、この公園なら被害は少なく、避難所としても機能するはず。そんな安心の公園ですが、防災的だけでなく景観の部分にも設計の力を入れているので注目してください。公園は富士山の一部に見えるよう、雄大な富士山に向けて緩やかな傾斜をつけています。伊豆半島や三保半島が見渡せ、夜景もきれいです。

# 清水羽衣公園

Shimizu haqoromo park

静岡市清水区



世界遺産内にある  
風致公園。

## 自然な景観を最優先して、一次避難所にもなる駐車場等を整備

公園区域を拡張し、文化創造センターの新設を含めた整備計画が進行中です。ここは海岸に近いですが海拔6mあり、三保地区内でも比較的高い場所になります。そのために、駐車場は一次的な避難地になるよう設計。文化創造センターの2階テラス及び屋上は、津波時緊急避難場所になっています。

設計で最も苦心した点は、景観です。世界遺産のエリア内にあるため、昔からの風景を損なってはいけません。駐車場にしても、松林の中にあるイメージにしました。新しく整備したけど、景観に馴染むのがポイント。来た人に違和感を与えず、三保の良さを伝えることを目指しています。



長倉  
ナビゲーター

## コン などところに 防災的秘宝！

### 1 砂利舗装駐車場

水たまりができにくく、砂利ですが歩きやすい設計にしました。景観に配慮し、所々に松を植えて松林のようにする予定です。そのパターンは、羽衣の松の配置を参考にしています。



### 2 文化創造センター

文化創造センターの裏側には階段がついていて、津波が起きた際の緊急避難場所として確保。センターが閉館しているときでも、緊急避難用扉を開けて屋上に上られるようになっています。

### 3 ソーラー照明灯



災害時に停電した際も避難場所とわかり、活動ができるよう、太陽光をエネルギーにした照明を導入。景観に配慮し、照明の外側部分は再生木材を使っています。



安心と景観の融合を目指しました！

景色を守るって、大変なことなんだね！



※MAPはイメージです。

- [ 住 所 ] 静岡市清水区三保1527
- [ 駐 車 場 ] 173台
- [公園面積] 約10ha ※拡張後予定面積
- [ 施 設 ] 駐車場(砂利舗装)、ガイダンス施設、ソーラー照明灯など



# 北オアシスパーク *Kita oasis park*

吉田町



その広い空間は、  
普段、子どもたちが走り回るために。  
災害時、避難場所にするために。



## 吉田町の防災意識をシンボリックに映す公園

吉田町は防災意識の高い地域です。その中で、北区の皆様が避難できるように整備されたのがこの「北オアシスパーク」。設計で苦心したのは、避難場所としての空間確保でした。

津波で被害を受けた人たちが身を寄せる仮設テントを設置できるように芝生のエリ

アと、救援物資が集められるよう車輛が入りやすい土のエリアを広く設けています。ここは東名高速道路のICに近く、店舗も隣接しているのが特徴で、救援物資の集積地としての役割も担っている防災公園です。そして、施設自体が防災の啓発を町民に示し、災害への備えを伝えています。



鈴木  
ナビゲーター

- [ 住所 ] 榛原郡吉田町神戸673-1
- [ 駐車場 ] 51台(優先駐車場1台含)
- [ 公園面積 ] 14,356.75㎡(多目的広場 約7,800㎡)
- [ オアシス館 ] 建築面積 / 543.42㎡  
構造 / 鉄骨造り平屋建  
施設内容 / 研修室A・B、多目的室、エントランスホール、多目的トイレ、授乳・オムツ替え室、情報発信モニター
- [ 施設 ] 耐震性貯水タワー、マンホールトイレ、防災倉庫



# [ 北オアシスパーク *Kita oasis park* ]

## コン などところに 防災的 秘密！



### 1 防災バーゴラ+ かまどベンチ

バーゴラは、来た人がちょっと休みたいときに利用できます。一見、四阿(あずまや)っぽいけど、屋根が骨組みしかありません。災害時には、ここにすっぽりとシートをかぶせることでテントに。ベンチには、ちょっとした仕掛けがあります。座面を外せば、そこに鍋を置くコンロがふたつ。かまどになって災害時の炊き出しに活躍します。

普段使いの設備が、万一の時の備えになっています！



### 鈴木ナビゲーターの公園への想い

吉田町は、住民や企業が「千年に一度の大津波が発生しても安全なまち」に取り組んでいる防災先進のエリアです。この防災公園を中心に商業施設や物流施設を集積して、企業からの救援活動の協力体制も整えています。災害時に、この公園にあれば大丈夫という安心をカタチにしたいと思いました。

### 2 耐震性貯水タワー

吉田町の地図が描かれた灯台みたいなものは何でしょう？ 実はこれ、貯水タワーなんです。災害時、必要なのはお水ですよ。とくに飲料水は、欠かすことができません。なんとこの貯水タワー、ここに避難してきた人の3日分の飲料水を貯めています。



吉田町の人たちは、防災意識高い系だね！



### 3 電気供給システム

被災したとき、停電が予想されます。そうすると、情報の受発信ができなくなって困りますよね。管理棟「オアシス館」には、屋上に太陽光パネルを設備していて、非常時にも電源を確保することが可能です。館内は地域防災の案内もしていて、防災啓発の拠点にもなっています。



### 4 マンホールトイレ

阪神淡路大震災の時に、被災者がとても困ったことのひとつがトイレでした。そこで、災害時にこの公園に避難してきた人のために、マンホールのフタを取るとそこがトイレになるマンホールトイレが8ヶ所も用意されています。もちろん、使用時には組み立て式のテントのような覆いをつけるので安心してください。

「よく遊びよく守る」防災公園の見本だね！



### 5 多目的広場

子どもたちが思い切り走り回れる芝生広場には、遊具や砂場があります。災害時には避難テントを設置するのですが、芝生のクッションが機能しそうです。被災後、2週間ほどして仮設住宅が必要になったら、主に土の部分に建てることになっています。ぽっかりした空間には、こんな理由があったんですね。



# みんなの想いを公園というカタチに。 建設コンサルタントは、あの手もこの手も使います。

## 最新の技術を駆使して調査します



公園を設計するには、まずその土地の見えない部分の地盤調査と正確な測量を行います。それらの調査には、最新鋭の機器なども登場。広域にわたる公園でも、ドローン(UAV)を使い、空から写真を撮ってデータ化することができます。また、地域の住民と会話を進め、どんな公園にしたいか、どんな設備が必要かなどのニーズも設計の重要な要素です。

スタートは、地中から、上空から、人から。

## 未来をクリアにシミュレーション



建設コンサルタントは、「i-Construction」を進めています。「i-Construction」とは、ICT(情報通信)技術を全面的に活用することで、生産性を向上させるだけでなく建築現場を魅力的にする取り組みのこと。調査で得たデータをもとに設計の完成形を3Dで提示したりできます。未来が詳しく見えることで、修正箇所も発見しやすくなりました。

これからの設計には「アイ」が必要です。

## 「防災」「景観」は、まちづくりのキーワード



静岡県でインフラを設計する際にこだわるのは、地震や津波の発生を想定すること。すべてではありませんが、「防災」は常に設計者の頭の中にあると言っていいでしょう。そして、もう一つ大切なことは「景観」です。とくに公園の設計においては、街並みとのバランスを考慮するのはもちろん。樹木や遊具の選定や、ベンチの色、素材にまで気をつかいます。

頼もしい、美しいを、身近なところに。

## 建設コンサルタントの仕事って？



建設コンサルタントは、公園以外にも道路や橋、港、河川などの土木関連の設計が得意分野。地域の大切なインフラ整備事業を担い、住民の皆様の快適な生活を縁の下で支えています。直接、施工しているわけではないので、あまり表に出てきませんが、「地域の未来のため」が原動力です。近年は、環境や生物を学んだ女性が建設コンサルタントの会社で活躍しています。

地域のために、未来のために、女性も活躍！

## 木のお医者さんも活躍中



建設コンサルタントのスタッフの中には「樹木医」がいます。「樹木医」は、樹木の保護・育成をしますがそれだけではありません。例えば、公園内にある木を点検し記録に残したり、台風などで倒れそうな木があれば診断をして、伐るなどの判断をします。また、「樹木医」のアドバイスがあれば、より敷地特性に適した樹種で、管理しやすく健全な樹木を育てられます。

人だけじゃない、木とも会話しています。

## 建設コンサルタントですが、発掘調査もします



建設現場などで調査、工事をしていると遺跡が出てくる場合って、意外と多いんです。その際に調査するのも、建設コンサルタントの仕事。そして、城址が公園になっているケースも多いので、整備する前の調査をしたり、当時から残っている石垣等は、地震等で崩れた場合に復元できるよう正確に記録しています。考古学を学んだ研究者みたいな人が活躍中です。

文化や観光面でも強力にサポート！



野球場もオートキャンプ場もある  
総合公園にこそ、大きな安心を。

## 千年に一度の津波に耐える防潮堤が公園の中に

50haほどの広さを持つ、遊具はもちろんプールやスポーツ施設、オートキャンプ場等が揃う遠州灘に面した総合公園です。本来は、市民の憩いの場としての活用が目的ですが、防潮堤を整備することで、防災という新たな役割を担うことになります。防潮堤の高さは海拔14mで、これはレベル2

(千年に一度発生するといわれる最大クラスの津波)に対応したものです。これから堤防とともに内側の広場を整備しますが、自然の景観を活かしながら進めていきます。この大きな防潮堤を公園の一部として、どう見せるのかもポイントです。これからも憩いの場であることは、変わりませんから。



山下  
ナビゲーター

- [ 住所 ] 磐田市駒場6866-5
- [ 駐車場 ] 320台 + 大型10台
- [ 公園面積 ] 50ha
- [ 施設 ] 体育館、艇庫、多目的広場、野球場、遊技広場、木製アスレチック遊具、屋内テニスコート、竜洋体育センターなど



# [ 竜洋海洋公園 Ryūyō-kaiyō park ]

コン などところに 防災的 秘密！



## 1 次世代エネルギー (エコパーク)

足もとにはソーラーパネルがいっぱいあるメガソーラー、上を見れば大きな扇風機のような風力発電。なかなかの迫力です。エコパークでは、次世代型エネルギーを利用して、地域に再生可能エネルギーの啓発を実際に見て学習できるようになっています。

高さ14mの防潮堤はどっしりして安心感があります！



### 山下ナビゲーターの公園への想い

もともとは海洋リクリエーションとして整備計画していたのですが、東日本大震災を契機に防潮堤の整備を進めることになりました。ですから、防災的公園としての機能はこれからでしょうか。ただ、市民にはとても人気のある公園なので、防潮堤ができたことでより安心して時間を過ごしていただけたらと思います。

防潮堤の上からの景色もなかなかだコン！

## 2 ビオトープ (エコパーク)

エコパークを整備したときに調整池をつくる必要がありました。そこで、コンクリートでつくるよりも自然な池の雰囲気になるよう土を掘りビオトープにしようと提案。その土は、別の整備に利用するというアイデアを出したのも建設コンサルタントなんです。



安心して、休日を過ごしてもらえよう設計しないと。



このオートキャンプ場はとても人気なんだって！



## 4 自然豊かなロケーション

天竜川河口と周辺の湿地は、静岡県版レッドデータブック「今守りたい大切な自然」に選定されています。それ以外でも風景が美しいところがいっぱいあって、写真映えがする公園です。さまざまなスポーツも楽しめますが、季節ごと見る楽しみもあります。

## 3 防潮堤

実際に見てみると、小さい山のようなです。さすがにどっしりしていて、安定感があります。よく見ると海岸よりも陸側の傾斜の方が緩やか。これは、これから防潮堤の陸側を公園として整備していくためです。



## 5 多様なパーク施設

ここは防潮堤ができる前から、市民に親しまれている総合公園。野球場や、テニスコート、プールなどのスポーツ施設から、人気のオートキャンプ場まで複合的にそろっています。もちろん、子どもたちが遊べる遊具もあり、楽しみ方はいろいろです。





いつもの公園が、  
もしものときの避難場所になる。  
それを遊びながら知る。



### 防災公園の先駆け、馬込川を活かして人を守る

浜松市の駅南、馬込川の南地区には広域的な避難地がないことから防災公園を計画。太陽光灯や非常用トイレ、耐震性貯水槽など今では当たり前の設備を、先駆けて採用しました。また、阪神淡路大震災後に整備されたため、橋の崩壊を想定し、川による物資運搬の拠点となるよう設計してあります。

当時、ワークショップを行った際、住民からはゲートボールなどをやりたいと要望があり、広場をつくりました。災害時には、仮設テントを張る場所になります。また、大きく存在感がある防災備蓄倉庫を整備するなど、安心をバランスよく配置している防災公園です。



佐野  
ナビゲーター

- [ 住所 ] 浜松市南区楊子町549-1
- [ 駐車場 ] なし
- [ 公園面積 ] 21,216㎡
- [ 施設 ] 多目的広場、遊戯広場、防災備蓄倉庫、非常用トイレ、太陽光灯、耐震性貯水槽など



# [ 三島楊子公園 Mishima-yozu park ]

コン などところに 防災的 秘密 !



## 1 防災備蓄倉庫

消防車が入るんじゃないかと思うほど、とても大きな倉庫です。災害時に対応する食料、避難用品を備蓄しています。隅に配置しそうな設備を、あえて目立つところにつけているのが特徴。この建物をいつも見ること、災害が起きて避難する際にこの公園を思い出すように。



地元の方は、水に関する不安が多かったようです。



だから、飲料水の確保や井戸水、川の水の浄化にも対応してるんだね!

M・A・P



## 2 テントになる遊具

子どもたちが楽しそうに遊んでいるコンビネーション遊具やブランコが、災害時にはテントの支柱に。遊具が普段使いとしても機能し、さらに防災機能も併せ持つことで、スペースを有効に使うことができます。



## 3 テラスが司令塔

公園が避難所になった場合、公園の中央にあるドーム型のテラスが司令塔になります。公園を見通せる高さにあり、インフォメーションの指示シェルターや井戸水が貯留できる水路等を配備。災害時の初期段階に、しっかり対応します。



## 5 ベンチスピーカー

普段何気なく座っているこのベンチには、隠れた秘密があります。それは、災害時に避難してきた人へ、連絡事項を放送で伝えるためのスピーカーが内蔵されているのです。「炊き出しの時間です」「支援物資を配布します」などのインフォメーションが流れるのかな。



## 4 川の駅広場

災害時に道路が寸断されたときは、川を利用した物資運送の発着拠点になります。ここに物資を集積して、さらに下流に運ぶことも想定しているんです。また、川の水を浄化するスペースとしても利用します。



## 佐野ナビゲーターの公園への想い

避難した人は、慣れない環境でどうしても緊張してしまいます。それを少しでも和らげるように、通路に曲線を多用しました。ここはもとの小さな公園を拡張したのですが、その頃からあった大きな木を3本残したいという住民の意向を受け、切らずにシンボルツリーにしました。ロータリーのところにあるので、見てください。



小さいときから遊んでいる公園が命を守る場所になる!

普段も、近所の人や子どもたちがいっぱいだね!

# 建設コンサルタントは暮らしを快適にするインフラを縁の下で支え、地域の明るい未来を描きます。

## 明日にかける橋づくり

日本全国には70万もの橋があり、これらを守るのも建設コンサルタントの仕事です。新しい橋をつくるだけでなく、今ある橋を点検して、安全に通れるように長持ちさせる役割も担っています。

橋の点検は、ハンマーを叩いて確認するというとても地道な作業です。みなさんの笑顔を思い浮かべながら、今日もコツコツと音を奏でています。

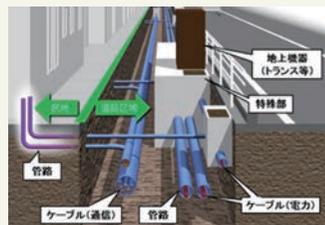


## 未来への道をつくります

クルマが走るだけが道路の役割ではありません。その地下には、大切な社会インフラが隠れています。そして、時代を映すのも道路です。街の歴史やビジョン、人の営みに合わせて道路を設計しているのが建設コンサルタント。道をつくることは、未来をつくることなのです。

## 景観や災害時の安全に配慮した無電柱化事業

都市だけでなく、観光地や狭い道路にも普及し始めた無電柱化。ロンドン、パリの無電柱化率は100%、ソウル、ジャカルタでも40%に対し、東京、大阪は10%未満。日本はまだです。しかし、東京五輪の開催を機に促進される予定。複数の埋設管（電気、電話、水道等）の位置や維持管理を考慮した設計、工事計画の立案、工事図面の作成なども私たちの仕事です。



無電柱化した道路では管路は地下に移動

## 人と地域の未来に機能する道路設計

例えば歩道なら、通行区分の色分け、景観と安全性を考えた植樹、通行の多い場所には広さを確保するなど、その環境に応じて設計。道路であれば、スムーズな通行を実現するために信号機がなくても機能する交差点や、自転車が走りやすい環境もつくっています。

このまちの未来のために道はどうあるべきかを常に考え、確かなカタチにしていきます。



安全や景観に配慮して設計された道

## まちづくりをグッドサポート

人口減少、高齢化、防災など社会環境の変化に応じて、求められるまちづくりはカタチを変えていきます。その中で、20年後、50年後、100年後までを見据えて、どうすることがこのまちと暮らす人にとっていいのかを計画するのが地域の建設コンサルタント。住民と行政の想いをつないで地域の課題を共有し、最適なソリューションを提案します。

## 津波からまちを守る防潮水門

海に面した静岡県。想定しておかなければならないものとして、大規模地震と津波があります。近い将来起こりうる津波災害を水際で防ぐために建設されるのが防潮施設です。安全・安心を考えたまちづくりも建設コンサルタントの大切な仕事。高潮や津波から人命や財産を守るため、防潮堤や水門等の海岸保全施設整備の調査設計を行っています。



松崎町南川水門（津波対策）

## 上下の水の流れをスムーズに

私たちの暮らしに欠かせない水を安全かつ確実に供給できるよう、水の道を築きます。今だけでなく、まちの将来に調和した水道水を供給するシステムを考えるのも建設コンサルタントの役割です。また、生活で使用した排水を適切に処理し、雨水なども安全かつ速やかにまちから排除するシステムも考えます。水が出るという当たり前の日常を守っています。



飲料水を一時的に貯める配水池

コンな仕事で  
社会に貢献



安心して快適な  
まちづくりに、  
今日もどこかで  
励んでいます！